

Twitterで、動画ツイートとして投稿する宣伝用ボイス。
そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

シチュエーションとしては『01・智絵里と真夏の白昼夢』の前夜。
智絵里、主人公と、通話している。

二人はすでに『ゲーム』を終え、引き分けに終わった。
しかし智絵里はこれを『自分の負け』と判断し、明日は主人公のお願いを聞いてあげる
事になっている。

対する主人公は、明日も智絵里宅に遊びに行く予定。
しかし、具体的に何時から会いに行くかは、伝え忘れてしまっていた。
なので確認のため、智絵里の方から連絡してきた。というイメージ。

しかしこれは『通話しているシーン』ではなく『通話っぽいシチュエーションのPRボ
イス』である。

なので、本編ではありえない『初対面の相手に、自己紹介として、フルネームを名乗る』という事も起こる。

基本的には両側から音声聞こえるし、電話加工も行わない。

しかし、智絵里がこの状況にどこか違和感を覚えている演出はある。

「全体的に嬉しそうに、弾んだ声で。

『鹿島』と『智絵里』で一呼吸あける。

智絵里は基本的にテンションが低く、淡々と、落ち着いて喋る少女である。

しかし、主人公に対しては常に比較的声が明るく嬉しそうで、時に少し意地悪そうに話す。

逆に言えば『ずっと機嫌がいい』ので、あまり声の大きな変化はない」

鹿島 智絵里（かしま ちえり）。

「くすくすと嬉しそうに。

『今、なぜかフルネームを尋ねてきたけれど、あなたは当然知っているよね?』という感じで。

前述の通り、『幼馴染に対して改めてフルネームを名乗る』というのは、現実には考えにくいシチュエーションである。

宣伝用なのでそのあたりは考慮しないはずで、智絵里自身も無意識に名乗った。

だが『なぜか名乗ってしまった』事を少し不思議に感じ、それが面白くなってしまった
いる。なので、笑っている。

なお『え』の語尾は上がらない」

え。知ってるよね。ふふ♥

【にやにやと甘い声で。

さらりと話題を変える。

とにかくこの話がしたかったのだ。

また、主人公もこの件について、早く知りたいだろうと思っている」

ねえ。あの服ちゃんと着れたよ？

『『あの服』を着ていた頃から身長が伸びていないので、問題なく着られたが、それもな
んだか可笑しかった』と言いたい。

智絵里は基本的に、主人公に関わる事をなんでも面白く、愉快であると捉える」
全然背え伸びてなくて笑っちゃった。

【またも、さらりと話題を変える。

とにかくこの話がしたかったのだ。

これによって聞き手には『気まぐれ』『マイペース』な印象を与えるが、実際は一刻も
早く主人公と会いたくて、それは何時からになるのかを知りたいだけ」

ねえ明日（あした）って何時（なんじ）に来る？ 昼には来れそう？」

〈主人公〉

「できるだけ早く行くよ。十時には行けると思う」

「声が弾む。

『思っていたよりも、早く会えそうだ』『主人公が努力して、できるだけ早く自分と会おうとしているようだ』とわかったので」

ほんと？ わかった♥

「少し間をあけてから。

変わらず機嫌がいいままだが、どこか含みを持たせる」

じゃあ、待ってる。

「少し間をあけてから。どこか含みを持たせて。

この『約束』は『待ってる』ではなくて『負けた方は勝った方に絶対服従』にかかる』約束だもんね。

「少しゆっくりめに、主人公にこの事実を言い聞かせるように。

まるで智絵里が『勝った方』であるかのように話す。

聞き手にもそのように勘違いさせる事が狙い」

負けた方（ほう）は勝った方（ほう）に絶対服従。

「ひそひそと甘く、ささやくように話して主人公を煽る。

ここで実際は智絵里が『負けた方』である事が判明し、その上刺激的なセリフをささやく事で、聞き手をドキツとさせるのが狙い」

どんな事でもさせてあげるよ」

〈主人公〉

「……………」

「満足げに可愛く笑う。愉快でたまらない。

主人公が露骨に興奮しているのが伝わってきたので」

ふふふっ ♡」

ここでフェードアウトして終了。